

平成24年度 小城市の家計簿 決算報告

平成24年度の小城市の決算がまとまりました。普通会計の決算をもとに前年度と比較しながら家計に例えてみましたので、一緒に見ていきましょう。



小城市の平成24年度普通会計決算額を1か月の家計に例えてみると、小城家の1か月の家計にかかった金額は45万8千円です。

収入では、雑収入（諸収入等）や前月からの繰越金（繰越金）が大幅な減となったため、家の増改築等（投資的経費）を行うのに借入金（地方債）が増えました。



支出では、主に家の増改築費用（投資的経費）が増加しています。これは、施設などの建設費用（本庁舎増改築事業・芦刈小学校建設事業）が増加したためです。

一方、ローンの返済（公債費）や貯金（積立金）の額が大きく減少しています。原因は、ローンの繰上償還を平成24年度は行わなかったこと、支出額の増加などに伴い、貯金に回すお金が少なくなったためです。

小城家の1か月の収入・支出の内訳

H25.3.31 住民基本台帳人口 46,109人

小城家の収入

(単位：円、%)

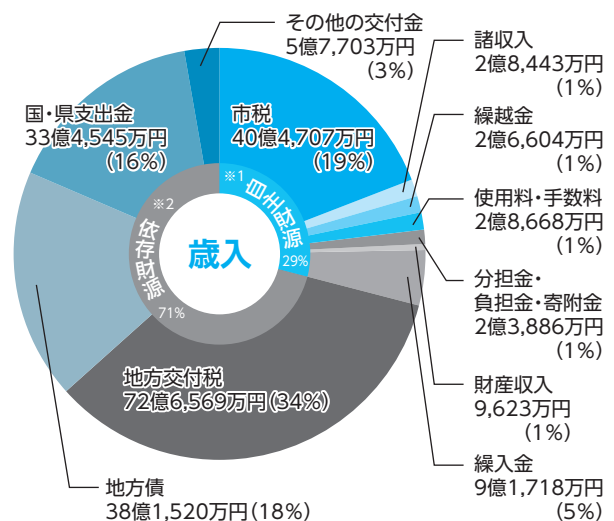
	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増減額 (A) - (B) (C)	増減率 (C)/(B)	備考
給料	87,772	87,345	427	0.5	市税
親からの援助	242,646	242,369	277	0.1	地方交付税 国庫支出金 県支出金 その他の交付金
雑収入	19,653	26,121	▲ 6,468	▲ 24.8	諸収入 分担金・負担金・寄附金 使用料・手数料 財産収入
貯金の取崩し	19,892	20,508	▲ 616	▲ 3.0	繰入金
前月からの繰越し	5,770	15,655	▲ 9,885	▲ 63.1	繰越金
新たな借入金	82,743	60,258	22,485	37.3	地方債
合計	458,476	452,256	6,220	1.4	



普通会計 歳入・歳出の内訳

歳入総額

211億3,986万円



※1 自主財源とは、市が自ら調達できる収入です。

※2 依存財源とは、国や県の決定や割り当てに基づいて収入するものです。

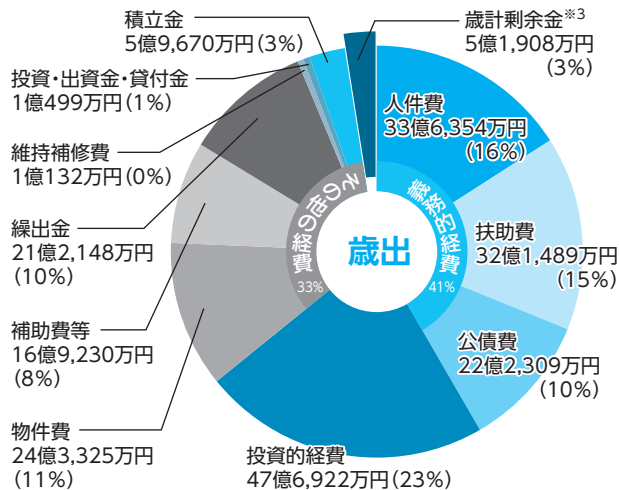
小城家の支出

(単位：円、%)

		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)	備考
生活費	食費	72,948	73,758	▲ 810	▲ 1.1	人件費
	医療費、 教育費等	69,724	65,924	3,800	5.8	扶助費
	ローンの 返済	48,214	64,077	▲ 15,863	▲ 24.8	公債費
その他 生活費	光熱水費・ 消耗品等	52,772	53,044	▲ 272	▲ 0.5	物件費
	自治会費・ クラブ 会費等	36,702	36,227	475	1.3	補助費等
	子供への 仕送り	46,010	41,658	4,352	10.4	繰出金
	家の 修繕費	2,197	1,552	645	41.6	維持補修費
	友達へ 貸したお金	2,277	2,265	12	0.5	投資・出資 金・貸付金
	貯金	12,941	27,185	▲ 14,244	▲ 52.4	積立金
	家の増改 築費用	103,433	71,932	31,501	43.8	投資的経費
その他	来月への 繰越金	11,258	14,634	▲ 3,376	▲ 23.1	歳計剰余金
合計		458,476	452,256	6,220	1.4	

歳出総額

206億2,078万円



※3 歳計剰余金とは、歳入総額-歳出総額の金額です。
歳出総額には、歳計剰余金は入りません。

指標からみる財政状況

	平成24年度	平成23年度
経常収支比率 財政の弾力性 (ゆとり) の指標	91.3%	87.6%
公債費比率 借金返済の割合	9.4%	6.8%
実質公債費比率 実質的な 借金返済の割合	6.9%	7.1%
財政力指数 自前の財源の割合 (3か年平均)	0.430	0.445
市税徴収率 (現年課税分)	97.6%	97.2%

【経常収支比率】 用途を制限されない経常的な収入（地方税、普通交付税などの毎年収入される性質のもの）に対する経常的な支出（人件費、公債費、扶助費などの毎年経常的に支出されるもの）の割合です。この割合が低いほど自由に使えるお金があることとなります。

【公債費比率】 市町村の一般財源の標準的な規模を「標準財政規模」といい、これに対する公債費（借金）の占める割合です。借金の償還が市の財政を圧迫していないかを示す指標です。

【実質公債費比率】 平成18年度から市債（借入金）の発行が許可制から協議制に移行したことに伴い、従来の起債制限比率にかわり、この新しい比率で起債制限を行うこととされました。この比率が18%以上になれば、地方債の発行に許可が必要になり、25%以上になれば、単独事業での地方債の発行が認められなくなります。

【財政力指数】 地方公共団体の財政に力があるかどうかを表す指標です。財政力指数が高いほど自主財源（地方公共団体が自ら調達できる財源）の割合が高く、財政力が強いこととなります。これが1を超えると、普通交付税は交付されなくなります。

小城市の貯金と借入金

貯金（年度末残高）

基金名	平成24年度	平成23年度	対前年度
財政調整基金	20億9,234万円	19億9,863万円	9,371万円
減債基金	21億5,062万円	21億4,720万円	342万円
公共施設整備基金	19億9,912万円	23億4,682万円	△ 3億4,770万円
その他特定目的基金	113億6,196万円	112億2,460万円	1億3,736万円
合 計	176億404万円	177億1,725万円	△ 1億1,321万円

※普通会計分の基金残高です。

借入金（年度末残高）

会計	平成24年度	平成23年度	対前年度
一般会計	200億7,526万円	182億2,793万円	18億4,733万円
簡易水道特別会計	3,167万円	3,345万円	△ 178万円
下水道特別会計	130億1,636万円	125億6,538万円	4億5,098万円
合 計	331億2,329万円	308億2,676万円	22億9,653万円

小城市の貯金は、176億404万円となり、前年度より1億1,321万円減りました。また、借入金は前年度より22億9,653万円増え331億2,329万円となりました。今後も一般会計においては、義務教育施設の改築や市営住宅の改築などを計画しています。下水道事業についても、平成42年までの整備を計画しています。こうしたことから、小城市の貯金は今後減少していき、逆に借入金が増加していくものと考えられます。

企業会計借入金（年度末残高）

会計	平成24年度	平成23年度	対前年度
水道事業会計	6億7,984万円	7億2,101万円	△ 4,117万円
病院事業会計	2億5,488万円	2億6,957万円	△ 1,469万円
合 計	9億3,472万円	9億9,058万円	△ 5,586万円

各会計の決算収支

平成24年度会計別決算

会計名		歳入決算額	歳出決算額
普通 会計	一般会計	211億3,853万円	206億1,885万円
	授産場特別会計	2,498万円	2,329万円
	小 計	211億6,351万円	206億4,214万円
特別 会計	簡易水道特別会計	706万円	551万円
	下水道特別会計	22億1,786万円	21億2,092万円
	国民健康保険特別会計	48億4,925万円	53億5,763万円
	後期高齢者医療特別会計	4億7,396万円	4億6,527万円
	小 計	75億4,813万円	79億4,933万円
合 計		287億1,164万円	285億9,147万円

※平成24年度決算報告（普通会計）のグラフと上記の普通会計の小計が合わないのは、普通会計間でのやり取り（繰入繰出）がなかったもの（相殺）として処理しているためです。

平成24年度公営企業会計決算

会計名	収益的収入および支出		資本的収入および支出	
病院事業会計	病院事業収益	11億4,812万円	資本的収入	4,953万円
	病院事業費用	12億1,658万円	資本的支出	4,284万円
水道事業会計	水道事業収益	2億7,373万円	資本的収入	4億60万円
	水道事業費用	2億6,414万円	資本的支出	3億5,770万円

平成24年度に実施した主な事業を紹介します

中心市街地活性化推進室

まちなか市民交流プラザ等整備事業 4,129万7千円

中心市街地の少子・高齢化に対応するまちづくりや交流による活性化、地域経済への波及効果が期待できる核的施設として「(仮称)まちなか市民交流プラザ」の設計に着手しました。

下水道課

下水道整備事業 13億4,108万円

下水道計画区域にある浄化センターや下水道管の整備を進めました。

教育総務課

芦刈小学校建設事業 9億7,231万2千円

児童の安心・安全のために、学習環境の充実と屋内運動場などの改築を行いました。

学校教育課

教育情報化推進事業 1億7,366万7千円

「教育の情報化」で授業改善、学力向上を目的として、電子黒板の整備や、小中学校内のネットワークなどの再整備を行いました。

こども課

乳幼児・子どもの医療費助成事業 9,645万1千円

子どもの疾病の早期発見と治療の促進のため、医療費などの助成を行いました。

文化課

中林梧竹没後100年記念事業 250万2千円

「書聖・中林梧竹没後100年記念事業特別展」を開催し、講演会、史跡探訪会などの各種イベントを実施しました。

市ホームページから

[平成24年度決算報告](#) で検索！

【問合せ】 財政課 (西館2階)
担当 土井・下村
☎37・6117

総務課

永久保存文書資料整備構築電子化事業 2,455万8千円

文書資料などの汚損・破損防止や検索性を高めるために、旧4町で管理していた永久保存文書資料を電子化しました。

企画課

本庁舎増改築事業 15億5,350万3千円

本庁舎方式へ移行するため、増築庁舎整備などに取り組みました。

環境課

中継センター運営事業 4億9,098万4千円

ごみを収集し、唐津市にある佐賀県廃棄物処理施設「クリーンパークさが」へ搬送を行いました。

福祉課

介護給付費・訓練等給付費支給事業 6億7,018万2千円

障がい者の自立支援のため、介護給付や施設入所・訓練などの支援を行いました。

健康増進課

ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業 3,202万4千円

乳幼児のヒブ・肺炎球菌による感染症を予防するため、ワクチン接種を行いました。

農村整備課

農業体質強化基盤整備促進事業 4億9,382万9千円

農業の競争力と体質を強化するため、農業用排水路整備などを行いました。

建設課

住宅リフォーム緊急助成事業 1億5,077万3千円

住宅リフォーム工事の促進による住宅の質の向上と地域経済の活性化を図ることを目的に、助成事業を行いました。